

2025 年 4 月～6 月期中小企業景況調査結果について

～中小企業の景況感、2 期ぶりに低下～

愛知県では、県内の中小企業の景況を把握するため、製造業、卸・小売業、建設業及びサービス業を営む県内の中小企業 2,000 社を対象とし、四半期ごとにアンケート方式により経営の動向などを調査しています。

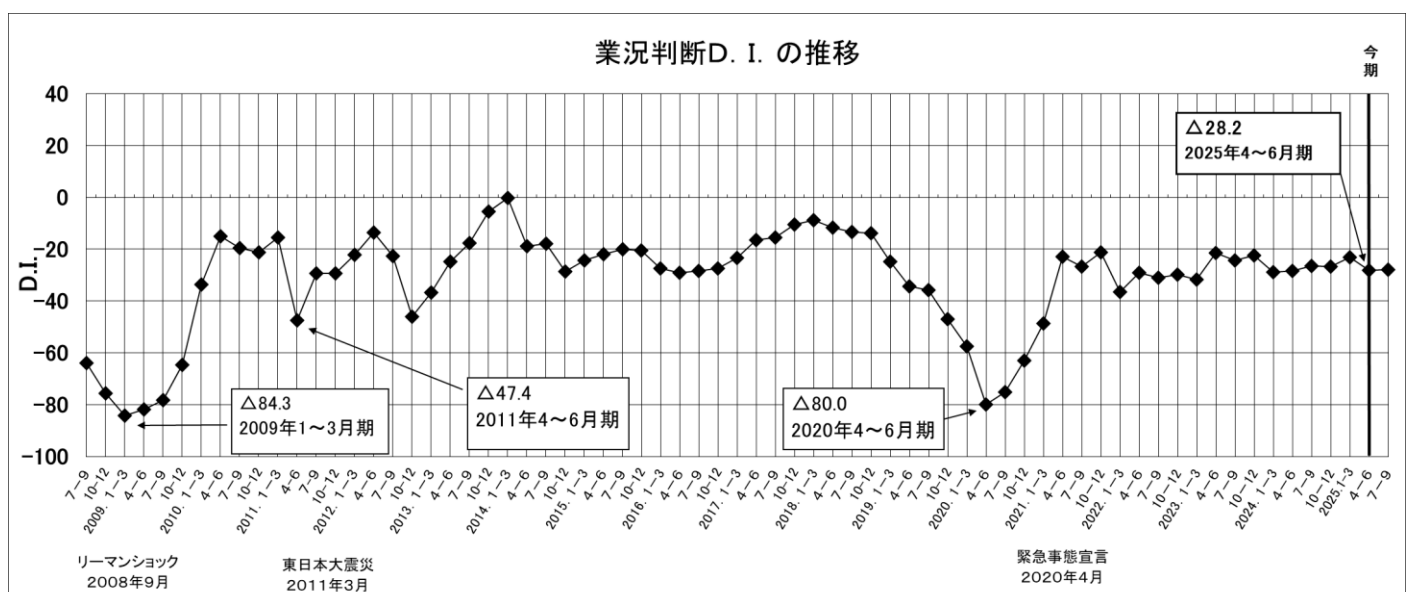
この度、2025 年 4 月～6 月期の調査結果を別添のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

調査結果を見ると、今期は業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を下回りました。来期は業況判断及び売上の各 D.I. で前期実績を上回り、採算 D.I. は横ばいの見通しです。

- ・調査期間 2025 年 6 月 1 日から 6 月 10 日まで
- ・調査対象 愛知県に本社を置く中小企業から 2,000 社を無作為抽出
- ・調査業種 製造業、卸・小売業、建設業、サービス業（物品賃貸業、情報サービス業、広告業の 3 業種。宿泊業、飲食サービス業は調査対象外）
- ・調査回答数 1,115 社(55.8%)

○業況判断 D.I.（別添 p.3）

- ・業況判断 D.I. は $\Delta 28.2$ ポイントで、前期（2025 年 1 月～3 月期）に比べ 5.0 ポイント低下しました。
- ・産業別で見ると、建設業は 12.4 ポイント上昇も、製造業で 5.8 ポイント、卸・小売業で 5.7 ポイント及びサービス業で 7.7 ポイント低下しました。
- ・来期（2025 年 7 月～9 月期）では、全産業で $\Delta 27.8$ ポイントとなり 0.4 ポイント上昇する見通しとなりました。



＜米国の関税措置による影響＞

○現時点での影響について（別添 p. 11）

・全産業では、「影響はない」と回答した企業の割合が 32.9%と最も高い結果となりました。

業種	現時点での米国の関税措置の影響					
	影響はない	現時点ではわからない	プラスの影響	マイナスとプラスの影響が同程度	ややマイナスの影響	大幅にマイナスの影響
全産業	32.9%	28.9%	0.2%	3.1%	27.4%	7.5%
製造業	28.3%	29.5%	0.2%	3.1%	30.1%	8.8%
卸・小売業	37.0%	29.4%	0.0%	3.7%	24.3%	5.6%
建設業	40.7%	33.3%	1.9%	1.9%	18.5%	3.7%
サービス業	48.8%	20.5%	0.0%	2.3%	22.7%	5.7%

○今後想定される影響について（別添 p. 11）

・全産業では、「ややマイナスの影響」と回答した企業が 32.6%と最も高い結果となりました。

業種	今後想定される米国の関税措置の影響					
	影響はない	現時点ではわからない	プラスの影響	マイナスとプラスの影響が同程度	ややマイナスの影響	大幅にマイナスの影響
全産業	20.9%	31.1%	0.1%	3.0%	32.6%	12.3%
製造業	17.1%	30.2%	0.2%	3.5%	34.3%	14.7%
卸・小売業	25.0%	33.6%	0.0%	1.8%	31.4%	8.2%
建設業	21.8%	43.6%	0.0%	1.8%	25.5%	7.3%
サービス業	36.5%	22.4%	0.0%	3.5%	28.2%	9.4%

○同措置の影響に係る愛知県の施策に関して、最も期待するもの（別添 p. 11）

・全産業では、「融資制度の拡充」と回答した企業が 25.3%と最も高く、「下請け取引の適正化」と回答した企業が 23.9%、「生産性向上（デジタルやロボット導入等）支援」と回答した企業が 15.5%でした。

業種	同措置の影響に係る愛知県の施策							
	相談窓口の拡充	経営課題解決に向けた専門家派遣	融資制度の拡充	下請け取引の適正化	販路開拓支援	新規事業開発支援	生産性向上（デジタルやロボット導入等）支援	その他
全産業	8.6%	3.2%	25.3%	23.9%	10.6%	6.5%	15.5%	6.4%
製造業	8.4%	3.1%	23.2%	30.0%	9.5%	5.4%	16.9%	3.5%
卸・小売業	8.7%	4.6%	31.2%	11.0%	15.1%	8.3%	11.5%	9.6%
建設業	11.1%	0.0%	27.1%	9.5%	6.3%	9.5%	17.5%	19.0%
サービス業	8.0%	2.3%	26.5%	24.1%	9.2%	6.9%	13.8%	9.2%

<エネルギー・原材料価格の高騰の影響>

○仕入価格等D. I.（別添 p. 8）

・製造業の主要原材料価格D. I. は 69.8 と、前期実績から 1.9 ポイント上昇超幅が縮小しました。卸・小売業の仕入価格D. I. は 75.1 と、前期実績から 11.0 ポイント上昇超幅が縮小しました。建設業の主要資材価格D. I. は 81.3 と、前期実績から 2.5 ポイント上昇超幅が拡大しました。

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	78.7	73.0	71.6	71.7	69.8
仕入価格 D. I.	卸・小売業	83.8	78.8	81.2	86.1	75.1
主要資材 価格D. I.	建設業	80.6	76.6	81.7	78.8	81.3

○回答者の主なコメント

- ・客先の長期計画が不安定で先が見えない。（製造業）
- ・賃金の上昇が大きく、雇用面で苦労している。（卸・小売業）
- ・売上高は増加しているが、仕入額もあがっているのでプラスの実感がない。（卸・小売業）
- ・燃料高などで取引先の利益が圧迫されている。（サービス業）
- ・物価高による購買意識の低下が深刻。（建設業）